

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.144

2017. 10. 2  
発行：平和憲法・9条をまもる  
岩手の会 実務者会議  
連絡先 県生協連・県消団連  
TEL 019-684-2225  
FAX 019-684-2227

## 《花巻市内高校生 1,600名にリーフレット配布》

—平和憲法・9条を守る花巻市民の会

選挙権を行使できる年齢が18歳に引き下げられたことを受け、主権者（またはその予備軍）となる高校生に日本国憲法をより深く知ってもらおうと、高校生向けリーフレットを作成しました。この構想は昨年9月に提案され、役員間で資料を持ち寄り、分担を決め原案を作成。校正を重ね、10か月をかけ完成しました。

夏休み明け8月末から9月初めにかけて、花巻市内6高校（花巻北、花巻南、花巻東、花巻農、花北青雲、大迫）で、登校の生徒に直接手渡しで配布。各校3～6名、延べ27名で、車で送られて

くる生徒や自転車で駆け込む生徒を除き、約1,600名（生徒数合計の約6割）に、配布することができました。



**高校生のみなさん！**  
**「日本国憲法」を知っていますか？**

「憲法って何だろう？」  
「憲法を認める人だかありますか？」  
「憲法は国の最高法規です」  
「憲法は誰が作ったのか？」  
「憲法が私たちの権利を守っています」

**「日本国憲法」を知っていますか？**

「憲法って何だろう？」  
「憲法を認める人だかありますか？」  
「憲法は国の最高法規です」  
「憲法は誰が作ったのか？」  
「憲法が私たちの権利を守っています」

どの学校の生徒さんも、礼儀正しく素直に受け取ってくれました。この日は、教室内で、あるいは家庭に帰ってから、日本国憲法が大いに話題にのぼった事と期待しています。

（事務局長 加藤昭雄）

## 改憲を許さない行動をしていく必要性を再認識

—いわて女性・九条の会 12周年記念講演会

憲法改悪は許さない！と、9月2日(土)に「ズバリ！安倍改憲のねらいは！」と題し、学習院大学の青井未帆先生にお話し頂きました。自民党の改正条文案の発表もあり、会場いっぱい140人の参加がありました。

安倍政権は「今ある自衛隊を9条に書き込むだけ」と加憲を強調しましたが、青井先生は「9条を変えることは平和の意味が変わることであり、『後戻りできない地点』に立って『殺し殺されること』を当然にしてしまう」と警鐘を鳴らしました。9条は「軍事関連を最優先にしない」「武力行使はできない」「自衛隊等の統制の規範」と、大きな役割を果たしてきました。それがなぜ今改憲なのか「北朝鮮が危ない。専守防衛を超える軍事力が必要だ」と煽り、普通の軍隊として集団的自衛権のもと、アメリカとともに戦争できる国になろうとしていることがわかりました。参加者の感想でも、「憲法と法律の違いや、今の政府に危機感を持つことが重要だ」とあり、改憲を許さないよう皆で行動していく必要があると再認識しました。

自民党が三分の二の勢力を維持しようと突然の解散を発表し、10月22日に衆議院議員選挙が実施されます。私たちは、「平和な未来」を選びたいと思います！（事務局長 伊藤慶子）



# 県内各地で戦争の悲惨さと平和の大切さをあらためて実感 いわて生協

## 夏休みピースアクション

県内で46企画開催。900人（うち子ども447人）が参加し、平和アニメのDVD鑑賞や紙芝居・絵本の読みきかせなどを行い、戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを考えあいました。

- ◆DVD「ちいちゃんのかげおくり」を鑑賞しました。今の日本は、戦争が始まる前の日本に似ているといわれます。平和な世の中で、小さな女の子1人が残されて亡くなったなんて信じられません。残された子どもたちが大人になったときどうなるか心配です。（盛岡西コープ・前九年こ〜ぶ委員会）
- ◆児童館で紙芝居「平和のちかい」を実施。ヒバクシャ国際署名もあわせてお願いし、子どもたちは、「原爆が落ちたらいやだ」と口々に言っていました。（岩手郡コープ・ウィズ玉山こ〜ぶ委員会）

## 2017平和のつどい

8月9日、盛岡市高松の池の平和祈念像「望み」前広場で開催。「望み」像のお手入れや周辺の草とりをしたあと、親子6名が参加した「ピースアクション in ヒロシマ」の報告、平和の歌「青い空は」の合唱をしました。長崎に原爆が投下された11時2分には、近隣の盛岡ハリストス正教会の鐘の音に合わせ、みんなで黙祷。50名の参加者全員で、あらためて平和な世界を願いました。



## 北朝鮮を『眼前の脅威』と安倍首相が国連演説、 日露戦争前の明治の元勳・山縣有朋を彷彿させる！

9月20日（現地）日本の安倍首相は心配したとおり「北朝鮮は『眼前の脅威』、北朝鮮は従来の対話からは『詐取』するばかりだった」「日米同盟、日米韓の連携」「今必要なのは対話ではなく圧力」と「対話」を否定するなど、トランプ米大統領と軌を一にする、口を極めた「演説」をしました。

しかし、この国連総会では米韓軍事同盟下の文在寅大統領は「再び朝鮮半島での戦争を望まない」等とトランプ米大統領と一定の距離を置く姿勢、マクロン仏大統領の「多国間協議で…」と演説、メルケル独首相は独国内から国連総会向けに「脅しには反対」「北朝対話仲介の用意」と「対話、外交解決」の主張など、先の「国連・安保理」決議の重要項目の一つである「対話による外交、政治、平和の解決」の表明が続きました。

安倍首相の「演説」は、予想される「解散・総選挙」向けに、北朝鮮に対する日本国民の「不安感」を煽るものではなかったでしょうか。因みに同大統領についてニューヨーク・タイムズ紙は社説で「国連は戦争の脅迫を行う場所ではない。しかしそれをトランプ大統領はやってのけた」と非難。

話は一足飛びになるかも知れませんが、「戦後レジームからの脱却—戦前・戦中の価値観への復帰もその一つ—」を掲げる安倍首相！同首相の下で「防衛費、5兆2千億円の概算要求！」「ロシア脅威論」を煽り日露戦争への「軍備増強」を進めた、明治の元勳・山縣有朋を彷彿させると言えば言いすぎでしょうか。

最後に「対話」を「全面否定」する安倍首相の「演説」は、先の「国連・安保理」決議に違反しているのでは？ 話の「レトリック」に気を付けよう。（T）

## 10月の署名活動 10日（火）12:00～12:45「盛岡市大通野村證券前」で実施

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が呼びかけている「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を行いますので、ご参加ください！今後、全国市民アクションに連携し岩手版のネットワークをつくる予定ですが、その結成を待たず、平和憲法・9条をまもる岩手の会各組織・団体でも、全国版の署名用紙を活用ください。※署名用紙が大量にほしい場合は、岩手県生協連までご連絡ください。